

休日の混雑状況と交通の集中要因を分析 ～幹線道路の混雑時間帯では大型ショッピング施設の利用者が突出！～

活用分野

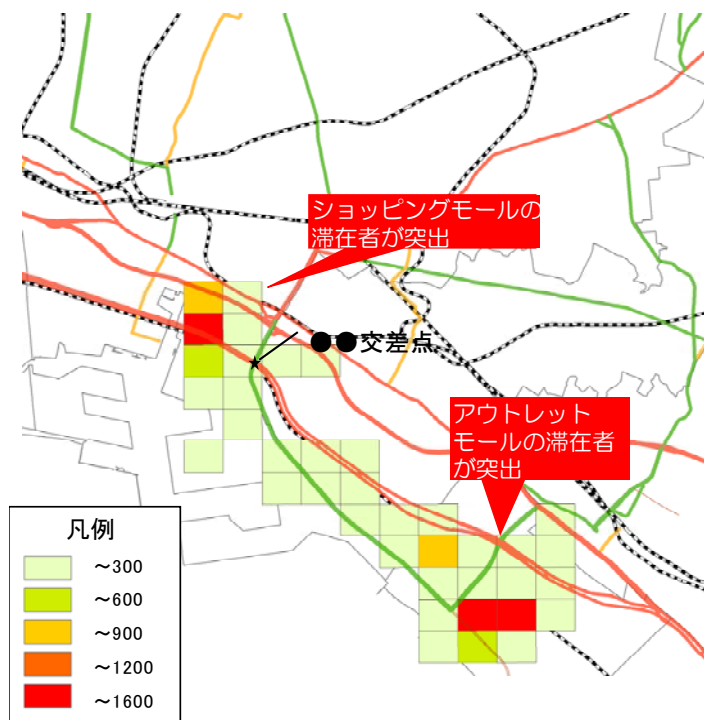
都市・交通、観光

分析内容及び結果

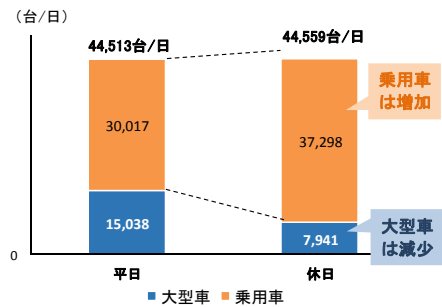
概要

幹線道路の休日ボトルネック箇所の交通集中の状況を広域から流入する需要で評価した

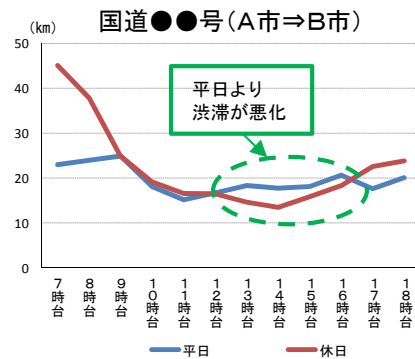
- ・幹線道路の休日混雑状況を表現するため、幹線道路を中心に県外から流入する滞留人口を分析し、交通集中箇所を視覚化。
- ・この滞留人口と周辺箇所のトラフィックカウンターによる交通量、プローブデータによる旅行速度を組み合わせることで、休日混雑状況と交通集中要因の分析を実施。



▲都内居住者の滞在者数(休日15時台)
データ：携帯電話基地局の運用データ (H28.10)



▲平休別の交通量(●●交差点)
データ：トラカンデータ (H29.10)



▲時間帯別平均旅行速度(平・休日)
データ：民間プローブデータ (H28.9)

背景

- 平日だけでなく休日にも発生している慢性的な渋滞の状況を道路整備の必要性を取りまとめる必要があった。
- 現地の状況から、大型ショッピングセンターへの来客が大きな要因であることは想定できたが、これを定量的に表現する手法がない。
- ビッグデータは来客者数と一致するわけではないが、24 時間 365 日の滞在人口を把握でき、休日に人（交通）が集中する箇所の把握が可能のため、本データを活用した。

分析に用いたデータ

- 時間解像度：1 時間単位
- 空間解像度：500m メッシュ（居住地別、市町村単位）

課題等

- 交通手段を考慮していない。

分析の体制

株式会社福山コンサルタント

紹介論文・掲載記事等

—

担当者（問合せ先）

（株）福山コンサルタント交通マネジメント事業部交通計画東京グループ 渋川剛史

E-Mail : shibu{at}fukuyamaconsul.co.jp Tel : 03-5805-8860

※上記 E-mail は、「{at}」を「@」に変更して送信して下さい